

# 平成29年度優良少年消防クラブ・指導者表彰(フレンドシップ)の開催

消防庁国民保護・防災部 地域防災室

## 1 はじめに

平成30年3月24日(土)、日本消防会館(ニッショーホール)において、「平成29年度優良少年消防クラブ・指導者表彰(フレンドシップ)」を開催しました。

消防庁では、クラブ員や指導者の意識高揚とクラブ活動の活性化を図り、少年消防クラブの育成発展に寄与することを目的に、昭和29年から毎年、優良少年消防クラブ及び指導者の表彰を行っています。

今回は、第1部「表彰式」、第2部「東京消防庁音楽隊による祝典演奏」、第3部「特に優良な少年消防クラブ(3クラブ)による活動報告」という構成で開催しました。

## 2 少年消防クラブについて

少年消防クラブは、防火・防災思想の普及を図ることを目的として、小学生から高校生までの少年少女で結成されており、平成29年5月1日現在、全国に約4千6百のクラブ、約42万人のクラブ員、約1万4千人の指導者が活動しています。

少年消防クラブ員は、防火や防災についての知識を身近な生活の中に見出すとともに、日ごろから防火・防災に関するさまざまな訓練の実施、防火パトロールや火災予防ポスターの作成などを通じて、地域における防火・防災思想の普及に努めています。

## 3 式典

第1部では、「特に優良な少年消防クラブ」24団体、「優良な少年消防クラブ指導者」13名が小倉將信総務大臣政務官から、「優

良な少年消防クラブ」47団体が稲山博司消防庁長官からそれぞれ表彰を受けました。その後、受賞団体を代表して福島県の小野田小大竹少年少女火防団の代表者より、元気良く「お礼のことば」が述べられました。



特に優良な少年消防クラブの表彰

第2部では、「東京都民と消防の架け橋」として演奏活動を通じて防火・防災の意識向上と協力を呼びかけている東京消防庁音楽隊の皆さんに、素晴らしい演奏を披露していただき、会場全体が感動に包まれました。



東京消防庁音楽隊による祝典演奏

第3部では、「特に優良な少年消防クラブ」を受賞したクラブの中から、「三郷市少年消

防クラブ（埼玉県）」、「光が丘消防少年団（東京都）」、「舞鶴市東少年消防クラブ（京都府）」の3クラブに、日頃のクラブ活動について報告していただきましたので、簡単にご紹介します。

### （1）三郷市少年消防クラブ（埼玉県）

三郷市少年消防クラブは、平成23年4月に設立された比較的若いクラブです。平成27年度には、ポーランドで開催された青少年消防オリンピック大会に日本代表として出場しました。クラブ員は年々順調に増加し、現在では114名で活動しています。主に中学3年生までの活動になりますが、高校生になっても活動を続けたい場合には、応急手当普及員の資格を取得して、救急講



三郷市の発表風景

習で指導するなどの準指導員として後輩クラブ員の育成に当たっています。

年間を通じ、様々な訓練に取り組んでいますが、中でも軽可搬ポンプ操法は人気が高いため、小学6年生限定で実施しており、消防団員の操法大会・消防フェア・出初式で成果を披露しています。

クラブ員は、高校卒業と共に卒団となりますが、卒団を理由に消防から離れてほしくないという思いから、卒団をする際に今後の意向調査を行い、消防職員や消防団員になる道を検討してもらっています。今春、クラブ1期生の一人が、高校を卒業し、消防職員になりました。今後も少年消防クラブをきっかけに、消防職員や消防団員に興味を持っていただけるような土台作りをしたいと考えています。

### （2）光が丘消防少年団（東京都）

光が丘消防少年団は、平成2年7月に設立され、28周年を迎えるクラブです。現在は、団長以下24名の指導者、42名の一般準指導者、高校3年生までの団員（クラブ員）87名で構成され、地域の防災リーダーとして活動することを目的に、多くの訓練に励



三郷市の資料抜粋



光が丘の発表風景



んでいます。

4月の卒・入団式後、5月には皆揃っての初めての活動になり、消防の仕事についての座学、ロープ結索や三角巾を使った訓練を行っていきます。また、規律訓練も行いますが、新入団員には分かりづらいので、先輩団員がお手本を見せ、皆で学びます。この他にも、奉仕活動を行ったり、野外活動では防災かまどを使用し火おこし訓練などもしています。冬にはこれまでの知識や技術が試される技術認定試験もあり、皆で合格できるようにがんばっています。

さらに、光が丘消防署では毎年、町会・自治会、防災会、市民消火隊等が参加して、軽可搬ポンプ操法の発表会が開催されてお

り、この発表会に中学生・高校生団員がチームを作り、毎年3～4チームが出場しています。そのため、大人に負けぬよう6月ごろからホース延長や規律訓練など訓練に励んでいます。

昨年の夏には、千葉県で1泊2日でのサマーキャンプも行いました。海では、水難事故のときに自分を守る方法として着衣水泳を行い、バケツリレーやビーチフラッグスで汗を流しました。このキャンプではたくさんさんの楽しい思い出を作れ、仲間との絆をより一層深めることが出来ました。

4月から新たな新入団員を迎え90人となった仲間とともに、これからもレベルアップしていけるようにがんばっていきます。

### (3) 舞鶴市東少年消防クラブ(京都府)

舞鶴市東少年消防クラブは、昭和60年に設立され、これまで1,300人以上のクラブ員を輩出しています。現在、クラブ員は11名と少ない人数で活動していますが、クラブ員の増加と活動の活性化を目標にがんばっています。

5月には基礎研修が行われ、育成委員の方々からの指導を受け、規律訓練や放水体

験を実施しました。昼食は、野菜を切ったり火を起こしたりと、苦勞しながら皆で作った焼きそばは、とても美味しかったです。

7 月には西少年消防クラブと合同でサマーキャンプを行い、ロープ結索訓練や、夕方には炊き出し訓練として皆で協力して作ったカレーを食べました。夕食後は、拍子木を持ち「火の用心」の掛け声で、周辺の防火啓発を行いました。2 日目は海岸の清掃活動を行い、浜をきれいにしました。このキャンプでは、2 つのクラブが協力し、クラブ員同士の絆を深めることができました。

9 月は救急の日のイベントに参加し、舞鶴市東防災協会・舞鶴防衛戦隊チャットマンと協力して市民に救急チラシを配り、10 月には総合防災訓練に参加し胸骨圧迫の訓

練を行いました。11 月は消防署で救助研修としてクライミングを体験、手と足を順番にホールドにかけながら、15 m の高さを皆で応援しあいながら一生懸命登りました。

1 月の出初式では街中を行進、緊張しましたが練習どおり上手に行進することが出来ました。

一年を振り返ると、色々な活動を仲間と経験し、絆を深め、たくさんの思い出を作ることができました。今まで学んだことを活かして、これからも防火・防災に努めて行きたいと思います。

#### 4 おわりに

今回受賞された少年消防クラブをはじめ、全国の少年消防クラブの皆さんには、多くの仲間とともに日ごろの防火・防災活動にさらに励み、家庭や学校あるいは地域で、防火・防災の輪を広げていくリーダーとしての活躍が期待されています。

また、少年消防クラブの活動は、指導者の方々のご熱意によって支えられており、指導者の方々には、今後とも少年消防クラブの育成・発展に御尽力いただきますようお願いいたします。



舞鶴市の発表風景



舞鶴市の資料抜粋